

# 認可保育所を増設して 待機児童を解消すべきです



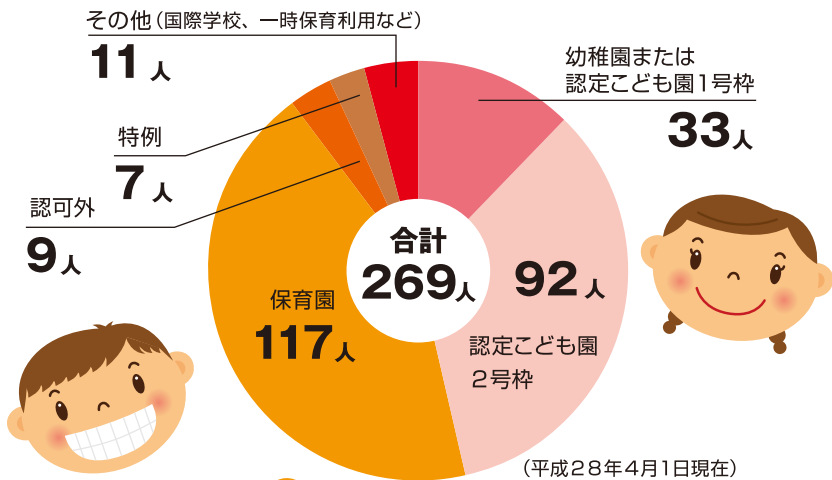
お母さんとお話

「職場に近い小規模保育園に預けていますが、3歳になったら保育園に入れるのか心配です」(2歳児の父親)「窓口で担当者から『働かないと無理』と言われ、就職の面接を受けると、『保育園に入らないと働けない』と言われ、途方に暮れています」(シングルマザー)

4月に保育園に入園できなかった子どもたちは神戸市内で745人(垂水区では125人)にものぼります。

しかし、垂水区では保育園を増設しないことになっています。昨年3月に神戸市が策定した「子ども・子育て支援事業計画」が保育所の整備に背を向けているからです。小規模保育園を卒園しても必ず保育所に入所できる保証はありません。働きながら子育てをする世代の願いに国も神戸市も正面から応えるべきです。いま認可保育所の大幅な増設が必要です。

## 小規模保育園を卒園したこどもの行き先



本会議で質問する赤田議員

## 保育士が不足しています

保育士は朝から夕方、あるいは夜遅くまで緊張を要するとてもハードな仕事です。市内の民間保育園の保育士の平均勤続年数は8年程度。賃金(月給)は全産業平均よりも10万円も低い水準にとどまっています。保育士は一人一人の子どもたちの命を預かり、発達を保障する専門的な仕事です。日本共産党市会議員団は、議会で保育士の実態を明らかにし、待遇の大幅な改善を求めています。

待遇の改善を

## こどもの医療費は無料に

「明石は無料なのに…」。中学卒業までのこどもの医療費の無料化は、久元市長の選挙公約でしたが、どんどん後景に追いやっています。兵庫県下のほとんどの自治体が無料化しています。神戸市はとて遅れています。



# すべてのこどもたちにより良い給食を

## 小学校 補助制度をつくって家計を応援 給食費の値上げはストップ!

教育委員会は、「給食内容の充実」を理由に、4月から給食費を月3900円から4400円にしようとしています。月500円の値上げは家計に大きな負担です。全国的には、2割の自治体で無料にするなど何らかの給食費補助をおこなっています。補助制度を創設すれば、家計に負担をかけずに給食を充実することができます。値上げ反対の声をあげていきましょう。



教育委員会に給食値上げの中止を求めました

## 中学校 給食が再開します

中断していた給食は2月中旬からデリバリー方式で再開する予定です。日本共産党は小学校のような温かくておいしい給食を実現するために引き続き改善を求めています。



## 9つの公立幼稚園の廃止に反対です

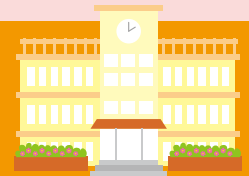
保護者、地域住民からの存続の願いを抹殺して今年3月、9つの公立幼稚園(垂水区では、奥の池幼稚園と多聞ひまわり幼稚園)を廃止する条例案が可決。しかし今でも、幼稚園の保護者達から市議会へ陳情が繰り返し提出されています。

## 認定こども園で不正経理 夢工房事件

芦屋の社会福祉法人「夢工房」は全国に保育施設や福祉施設を経営しています。このたび、経営者一族が、少なくとも1億4000万円の運営費を不正に取得した疑いが明らかになりました。神戸市内にも、東灘区に認定こども園があります。市民の税金や保育料を私物化する許せない事件です。神戸市は10月13日に実地監査に入り、使途不明金があることが判明。現在調査中です(赤田議員は10月20日の文教こども委員会で質疑による)。

## 改修されます

# 補正予算が付き、 学校の施設の改修工事が行われます



トイレの改修

- 塩屋北小学校
- 高丸小
- 千鳥が丘小
- 小東山小
- 本多間小
- 舞子中

外壁・屋根などの改修

- 小東山小
- 本多間中

エレベーターの設置

- 多間台小

空調の設置

- 多聞ひまわり幼稚園



本多間小学校と中学校